

プログラム・デザイン・コース

「企業の森づくりに学ぶ～生物多様性と自然共生の実践～」

日 時： 2026年10月31日(土)
会 場： モビリティリゾートもてぎ ハローウッズ(栃木県芳賀郡茂木町桧山 120-1)
定 員： 25 名
講 師： 崎野 隆一郎氏(ホンダモビリティランド株式会社 森のプロデューサー)
松井 孝夫氏(群馬県立尾瀬高等学校 非常勤講師(環境)・群馬県立沼田高等学校 非常勤講師(探究)・NPO法人奥利根自然センター 事務局長・丸五ファーム体験農園 園主)

集 合 時 間： 9:50(受付 9:30～9:50)
集 合 場 所： モビリティリゾートもてぎ ハローウッズ
ア ク セ ス： ①無料送迎バス(JR 宇都宮駅⇒ハローウッズ※所要時間約 60 分)
朝：JR 宇都宮駅前 8:30 集合 8:40出発予定
夕：ハローウッズ 16:45出発予定(JR宇都宮駅前まで)
②マイカー使用(※駐車場の利用をされる方は、事務局までご連絡ください)
プログラム(予定)

8:40	宇都宮駅前より出発 / 現地集合の受付 9:30～9:50 ※集合 9:50
10:00	開講・環境省挨拶
10:05	講師紹介・会場について
10:15	お互いを知る時間(30分)
10:45	【講義】「生物多様性に向けた森の管理」崎野氏(60分)
11:45	昼食(※)(45分)
12:30	フィールドガイドウォーク(※)(90分)
14:00	休憩(15分)
14:15	木工(60分)
15:15	講義「学校とつながるためのワンポイントアドバイス」(30分)
15:45	グループワーク・質疑応答(40分)
16:25	事務連絡(5分)
16:30	閉講 (16:45 バス出発)

※ 当日の天候等で、プログラムに変更が生じる場合があります。
※ フィールドガイドウォークは小雨決行です。雨具をご用意ください。
※当日は、お弁当(有料)を御用意します。詳細は参加者にお送りする「研修会のしおり」をご覧ください。
※ 研修終了後、簡単な事後アンケートにご協力ください。

プログラム・デザイン・コース

■ 事業者情報(会社概要、活動概要など)

モビリティリゾートもてぎ内にある自然体験施設「ハローウッズ」は、2021年10月に栃木県内で初となる、環境教育等促進法に基づく「体験の機会の場」に認定されました。

また、ホンダは、環境省を含めた産民官17団体を発起人とする「生物多様性のための30by30アライアンス」に2022年4月より参画しており、2023年10月にはホンダが所有するモビリティリゾートもてぎの敷地が民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域「自然共生サイト」として、環境省から認定されています。

モビリティリゾートもてぎでは、1997年の開業以来、人と自然とモビリティの共生をテーマに環境と調和した企業活動を行ってきました。サーキットを取り囲む森は、全敷地およそ640haの内の約7割を占め、そこで現在確認されている生物種数は約5,800種にのぼります。この中にはゲンゴロウなどの希少種も多数含まれており、こうした自然や生物の保全活動にも取り組んでいます。

2000年にオープンしたハローウッズでは、管理が行き届いていない雑木林や田んぼであった土地を、木を切り、森に光を取り込むことで環境改善を図り、棚田の再生を行い、無農薬で稲作を行うことで、絶滅が危惧されているハッチョウトンボの保護等を行っています。「環境改善は減らすことだけではなく、作ることも行う」という考えのもと、伐採などにより林内密度を減らし光や風を取り込むだけではなく、生き物たちのすみかを作るなど、多様な環境づくりも行っています。

さらに、森林調査やモニタリング調査、森づくりに関わる「人」を育む「森づくりワークショップ」などを行い、持続的な森づくりや次世代の育成支援活動および地域環境保全活動にも取り組んでいます。

次世代育成の一環として、2002年より実施している「ガキ大将の森キャンプ」では、小中学生に自然の中で30泊31日を過ごす機会を提供し、火おこしや昆虫学習、バイク走行などを通じて、生体リズムを整え、生き抜く力を身につけていただくことを目指しています。また、日本体育大学と共同で「子どものからだと心の健康調査」を行い、キャンプを楽しむだけではなく、お子さまの元気につながるプログラムづくりにも取り組んでいます。

ハローウッズでは、より多くの方々に自然に対する興味を持っていただきたい、人と自然との共生を考えるきっかけとしたいという願いから、四季を通して楽しんでもいただける様々な体験プログラムを実施しています。

